

令和6年度 小学校算数 対策のヒント一覧表

[富山県教員応援サイト]
<https://www.kvoinouen.tvm.ed.jp/1708-2>

[国立教育政策研究所HP]
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

問題番号	問題の概要	課題のある内容	学習指導要領の内容	対策例の概要（報告書より）	関連する問題	参考	学年	時期	関連する主な単元〈東京書籍〉
2(1)	350×2=700であることを基に、350×16の積の求め方と答えを書く。	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。	数と計算	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫できるようにする 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を能率的に処理できる場合があることに気付く、計算を工夫できるようにすることが重要である。	H30 B4(1) H26 B1(2) H19 B2	[富山県教員応援サイト] ・特徴的な問題 P9 [国立教育政策研究所HP] ・R6報告書 P28～37 ・H30報告書 P81～87 ・H26報告書 P56～60 ・H26アイデア例 P17～18 ・H19報告書 P159～161	3年	10月 2月	大きい数のかけ算のしかたを考えよう〔かけ算の筆算〔1〕〕 かけ算の筆算を考えよう〔かけ算の筆算〔2〕〕
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。	球の直径の長さや立方体の辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す。	図形	図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めることができるようにする 身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが重要である。	H28 B3(3) H24 B5(1) H21 B1(3)	[富山県教員応援サイト] ・課題のみられた問題 [国立教育政策研究所HP] ・R6報告書 P38～53 ・H28報告書 P78～84 ・H24報告書 P260～269 ・H21報告書 P244～253	3年 5年	11月 4月	まるい形を調べよう〔円と球〕 直方体や立方体のかさの比べ方と表し方を考えよう〔直方体や立方体の体積〕
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く。	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する。	図形	図形を観察するなどの活動を通して図形を構成する要素に着目し、角柱について考察できるようにする 図形を構成する要素に着目し、底面や側面という用語を用いて角柱の性質について説明できるようにすることが重要である。	R2 2(1)	[国立教育政策研究所HP] ・R6報告書 P38～53 ・R2調査問題活用の参考資料 P44～55	5年	3月	立体をくわしく調べよう〔角柱と円柱〕
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。	変化と関係	二つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察できるようにする 場面や目的に応じて、単位時間あたりに移動する長さや、一定の長さを移動するのにかかる時間として速さを捉え、速さを比べることができるようにすることが重要である。	R3 1(2) R3 1(3) R3 1(5)	[富山県教員応援サイト] ・富山県特徴的な問題 P8 ・課題のみられた問題 [国立教育政策研究所HP] ・R6報告書 P54～72 ・R3報告書 P20～37 ・R3アイデア例 P9～10	5年	11月	比べ方を考えよう（1）〔単位量あたりの大きさ〕
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く。	速さの意味について理解する。	変化と関係	二つの数量の関係に着目し、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解できるようにする 道のりと時間が比例の関係にあることに着目して、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解できるようにすることが重要である。	R4 2(3) R3 1(2) R3 1(3) R3 1(5)	[国立教育政策研究所HP] ・R6報告書 P54～72 ・R4報告書 P36～51 ・R3報告書 P20～37 ・R3アイデア例 P9～10	5年	11月	比べ方を考えよう（1）〔単位量あたりの大きさ〕
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する。	データの活用	グラフを読み取り、見いだしたことを表現できるようにする 日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見いだしたことを表現できるようにすることが重要である。その際、グラフのどの部分を基に、必要な情報を読み取ったかを表現できるようにすることが大切である。	R2 4(3) H30 A9 H22 A9(2)	[富山県教員応援サイト] ・課題のみられた問題 [国立教育政策研究所HP] ・R6報告書 P73～86 ・R2調査問題活用の参考資料 P66～77 ・H30報告書 P59～60 ・H22報告書 P174～179	3年 4年	6月 4月	記ろくを整理して調べよう〔ぼうグラフと表〕 グラフや表を使って考えよう〔折れ線グラフと表〕

令和6年度全国学力・学習状況調査の問題のうち、本県児童生徒に課題がみられた問題に関して、その概要及び指導の参考となる資料や教科書の関連単元等をまとめました。各学校の実態に応じて活用してください。